

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

三良坂中学校の教職員は、法令を守り、厳正に職務を遂行し、地域に信頼される学校をつくることを宣誓します。

(6) 不祥事根絶のための行動計画

三次市立三良坂中学校
作成責任者 校長 古本 宗久

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○本校で不祥事が生起する可能性は低いと安心している傾向があり、当事者意識が十分に高まっていない。	○不祥事が生起したときのリスクを意識した研修を行い、教職員としての責任の重さを再認識する。 ○管理職以外の職員が進行する研修や参加型の研修を取り入れ、職員の自覚を高める。	○教職員の不祥事に関する記者発表資料や新聞記事等を職員朝会で配布し、危機管理の重要性を確認する。 ○不祥事防止研修の年間計画に分掌ごとに担当する研修を位置づけるなど、多様な視点で服務規律について考えられる研修内容となるよう工夫する。	○学期に1回、規範意識等を振り返るチェックシートを活用する。 ○学期に1回個人面談を実施するとともに、研修内容等への意見を聞く。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○非常勤職員との情報共有が十分とはいえない。	○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進めることができるようにする。	○校務運営システムを活用して、確実に情報の共有を行う。 ○不祥事防止に関する研修資料等を非常勤職員にも配布するとともに、3回の個別研修を年度当初早めに実施する。	○校務運営委員会・職員研修等で、状況を確認する。
相談体制の充実	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知に努めているが、相談窓口への相談がほとんどない。	○生徒・保護者が安心して相談できる体制をつくる。	○学校だより、学級通信、保健室だよりで「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」のお知らせを適時掲載し、担当の教職員を明示する。 ○学期に1回生徒の個人面談を実施する。 ○スクールカウンセラーによる生徒全員の面談を行う。	○学期末に生徒、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。